

札幌大学研究データ管理・公開ポリシー

札幌大学（以下、「本学」という。）は建学の精神に基づき、生気に溢れ、知性豊かな、信頼される人間を育成し、もって地域社会の発展に貢献することを目指している。研究活動においても、教育研究成果を広く社会に還元し、地域社会の発展に貢献していくために、その根幹である研究データを適切に管理・保存し、可能な限り公開してゆくことが重要である。

これを踏まえ本学は、研究活動の過程で生み出される研究データを適切に管理し、可能な範囲で積極的に公開して利活用を促進すべく、本学における研究データポリシーを以下のとおり定める。

（研究データの定義）

- 1 本ポリシーが対象とする「研究データ」とは、本学における研究活動の過程で研究者によって収集又は生成された情報を指し、デジタルか否かを問わない。

（研究データの管理等）

- 2 研究データの管理及び公開並びに利活用に供する方法は、それを収集または生成した研究者が、法令、本学規程その他これに準ずるものの範囲内並びに他の者の権利及び法的利益を害さない範囲内において、決定することができる。

（研究者の責務）

- 3 研究者は、前項に掲げる範囲内において、研究データを適切に管理し、可能な限りそれを公開し、利活用に供する。

（大学の役割、責務）

- 4 本学は、研究データの管理及び公開を支援する環境の整備を推進する。

（ポリシーの見直し）

- 5 社会や学術環境の変化に応じて、適宜本ポリシーの見直しを行うものとする。